

令和２年度 華道部～花の便り～

９月号

令和２年９月９日（水）

９月８日に、華道部活動を行いました。残暑厳しい中ですが、前回よりは少し暑さが和らいだ感じがします。

部員各自の感性を大切に、自分の好きな花器に生けていきます。

今日は華道顧問の先生が「長陽の節句」の話をしてくださいました。菊の花を飾ったり、菊の花びらを浮かべた飲み物をいただき、不老長寿を祝う行事です。菊の花は秋が一番美しいとのことで、これから花材として登場するのが楽しみです。

さて、今回の材料は、石灰エニシダを使っています。この材料は全体を立体的に魅せるためにとても有効なものです。そして、彩として濃い桃色の小さなカーネーション、薄いピンクのバラとで濃淡をつけています。それらを縁取るサトイモ科観葉植物であるモンステラのグリーンが涼しさを演出してくれます。

華道部は毎回、福崎駅に出向き、待合室に展示させていただいています。駅の職員の方々をはじめ、利用される方からも楽しみにいただいています。これからも、花が持つ活力や癒しの力をお届けしたいと思っています。機会がありましたら、ぜひ、待合室コーナーのお花をみていただけたらと思います。



９月の生徒作品です